

## 創意と活力に満ちた特色ある学校経営」

### 「生きる力」を育む創意ある教育活動の推進

#### 1 はじめに

グローバル化や知識基盤社会化が進む中、一人ひとりが生涯にわたって学び続け、絶えず知を更新するとともに、自立・協働・創造の力を養い、その成果を社会に生かしていくことが求められている。また、学校教育においては、「生きる力」を育む創意ある教育活動を展開し、教育の質的改善に取り組んでいかなければならない。そして、学校はそれぞれの実態や特性に応じた特色ある教育活動を推進し、児童・生徒の確かな成長を通して成果を示していくことが求められている。

そこで、本研究会では、各学校の「生きる力を育む創意ある教育活動」に視点をあて、実践発表を通して情報交換を行い、実践を通して学び合うこととした。また、校長の果たすべき役割や各校の特色ある活動を明確にするための「学校グランドデザイン」についても検討していきたい。

#### 2 研究の概要

##### (1) 研究のねらい

- ①各学校の実践発表を通して情報交換をし、自校の教育活動の改善に役立てる。
- ②「生きる力を育む創意ある教育活動」を推進するための校長の役割やリーダーシップはどうあるべきか検討する。
- ③「生きる力を育む創意ある教育活動」を明確にし、積極的に推進するための「学校グランドデザイン」づくりについて研究する。

##### (2) 研究計画

###### ① 1年目

- ・各学校の「生きる力を育む創意ある教育活動」の実践発表と情報交換。
- ・生きる力を育む教育活動を推進するための校長の役割やリーダーシップはどうあるべきか。

###### ② 2年目

- ・特色ある教育活動を明確にする「学校グランドデザイン」づくり。

##### (3) 研究内容

具体的な研究は、各学校の実践発表を中心に進めていった。どの実践も「生きる力」を育むために創意工夫された実践であるが、内容を見ると、一つは学校経営の視点からの実践、もう一つは各学校がおかれている実態や学校の特色をいかして取り組んでいる実践に分けることができる。以下、二つの視点に分けて提案された概要をまとめておくこととする。

###### ①学校経営の視点から

「生きる力を育む創意ある教育活動」を進めていく上で、学校長が示す経営方針やグランドデザインが重要であることは言うまでもない。実践報告の中でも、学校経営方針やグランドデザインについての提案があった。

一つの学校では、「学校評価を主軸とする学校経営グランドデザイン」を作成し、その中で学校評価の評価項目、指標、具体策を明確し、学校評価を活用して、「生きる力」を育むために何をどんなふう、そしてどんな目標で取り組んでいくのかを明確にして実践していた。また、他の学校では、「学校経営の計画書」を作成し、「学校教育目標」「めざす児童像」「めざす学校像」「めざす教師像」「教

育方針」「中期的目標」「学校経営の重点」「具体的方策」等を明確にして取り組んでいた。示し方は違うが、どちらの学校も校長の明確な方針が示されていた。そして、校長が示した方針を校長自身が中心となって推進した事例として「川柳づくり」や担任と児童が一対一で対話をする「個人面談」の実施等が報告された。特に川柳づくりの取り組みでは、児童が言葉を大切にできるようになったり、標語づくりにも活用できたりと取り組みが広がっていった様子が報告された。また、今ある網羅的な学校グランドデザインではなく、重点事項や生きる力を育むための特色ある営みに重点を置いた学校グランドデザインを作成することで、その校の経営方針や取り組みがよりいっそう明確になるのではないかとの提案もあった。これは、次年度の研究につながる貴重な報告であり、今後の研究につなげていきたい。

## ②各学校の実態や特色を生かした取り組みから

もう一つの内容として、各学校のおかれている実態や特色をいかして、「生きる力を育む創意ある教育活動」に積極的に取り組んでいる実践が報告された。

東山梨のいくつかの学校がおかれている状況として小規模校の課題があり、その良さをいかして「生きる力」を育もうとする実践が多く報告された。異学年での合同体育、音楽、総合等、学年の枠を越えた日常の学習の取り組みをはじめ、入学式がなかったことからいろいろなサプライズを用意して行った進級式の取り組み、異学年縦割り班ごとに食べる「全校給食」の取り組み、スクールバスを活用した体験活動の充実、小規模校同士の交流、地域の方々の協力に支えられた様々な活動等、一人ひとりを大切に活動が報告された。小規模校での取り組みは、職員の共通理解が図られ、全校児童、全校職員で取り組む一体感が感じられる良さがあるとのことだった。

もう一つは、その学校の特色をいかした取り組みの報告も多くあった。PTA、職員、図書委員、上級生、親子、地域のボランティアグループだけではなく、公共図書館とも連携して進められている読書活動、スナックゴルフの取り組み、甲斐天目山勝頼公太鼓や笛吹き童太鼓のような太鼓活動、緑の少年隊の活動としての取り組んでいる間伐体験や植樹体験、さらには、勝沼ぶどう郷駅舎の清掃はすでに20年以上にもなるとのことだった。これらの学校の特色は、地域の歴史や地域とのつながりによって長年取り組まれてきたものである場合が多い。そのため、これらの学校では、社会科や総合で地域学習が積極的に行われていたり、「地域教材関連表」を作成して地域学習が計画的にできるようにしていたりする。

## ③校長としての関わり

校長として「生きる力」を育む取り組みにどのように関わっていったらよいかについても検討した。様々な意見が出たが、まとめると次のような内容になる。

- ・職員との日常の関わりを大切に、職場の和・協働の姿勢を創りあげる
- ・良い意味で仕事を職員や分掌に任せる
- ・職員の良さや頑張りを見つけ、評価する
- ・職員が自主的に創意工夫して取り組もうとする姿勢を大切にする
- ・保護者や地域に子ども達、職員の頑張りや情報を発信していく

## 3 今後の課題

これまでの「生きる力を育む創意ある教育活動」「生きる力を育む特色ある教育活動」がさらに充実したものになるように、各校の実践に学んだり、情報交換を深めたりしていきたい。

また、もっと児童や保護者が自分の発想で企画したり、自分の考えを出して取り組んだりするような、児童や保護者の主体的な取り組みを推進することで、より充実した価値ある教育活動を推進できるようにしていきたい。